

「土研新技術ショーケース2022 in 高松」にて研究成果を講演

寒地技術推進室

土研新技術ショーケースは、土木研究所の研究成果の普及促進を目的として、研究成果を社会資本の整備や管理に携わる幅広い技術者に講演とパネルや模型展示で紹介するとともに、現場適用に向けて技術相談に応じるものです。また、大学の先生や土木研究所職員による「特別講演」と国土交通省地方整備局等からの講演もプログラムに組み込んでいます。今回は香川県高松市で開催した「土研新技術ショーケース2022 in 高松」の結果を報告します。

1. 概要

2022年7月5日に「土研新技術ショーケース2022 in 高松」(会場：サンメッセ香川)を開催し、国や地方公共団体、コンサルタント、建設業に携わる技術者など68名にご来場いただくとともに、WEBにてライブ配信を行い316名の方にご視聴いただきました。

2. 講演および展示・技術相談コーナー

講演では、「四国地方整備局におけるインフラDXの取組について」と題し、四国地方整備局企画部建設情報・施工高度化技術調整官 濱田向啓氏にご講演を頂きました。特別講演では「自律施工の技術開発促進に向けた取り組みについて～土研OPERAの紹介～」と題し、土木研究所技術推進本部上席研究員 橋本毅より講演を行いました。また、土木研究所で研究開発した10技術を河川、材料技術や道路防災技術等のカテゴリーに分類し、技術の特徴や適用の効果などについて

表-1 寒地土木研究所の講演技術

3D浸水ハザードマップ作成技術 寒地河川チーム 上席研究員 大串 弘哉
メンブランパッチを用いたRGB色相による潤滑油診断技術 寒地機械技術チーム 主任研究員 永長 哲也
写真計測技術を活用した斜面点検手法 防災地質チーム 総括主任研究員 日外 勝仁



写真-1 講演会の様子
(左：大串上席研究員 右：日外総括主任研究員)



写真-2 展示・技術相談コーナーの様子
(永長主任研究員 (左))

講演を行っており、寒地土木研究所からは3技術を紹介しました(表-1、写真-1)。

展示・技術相談コーナーにおいては、講演技術や研究内容について動画やパネル、模型をもとに来場者の方へ説明するとともに、紹介や技術相談に応じました(写真-2)。

3. おわりに

「土研新技術ショーケース2022 in 高松」の開催にあたり、多くの方にご協力頂きました。この誌上をもちまして感謝申し上げます。なお、今後も寒地土木研究所では、土研新技術ショーケースをはじめ各種イベント¹⁾を予定しております。

1) 寒地土木研究所イベント情報

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>

(文責：高田 哲哉)

